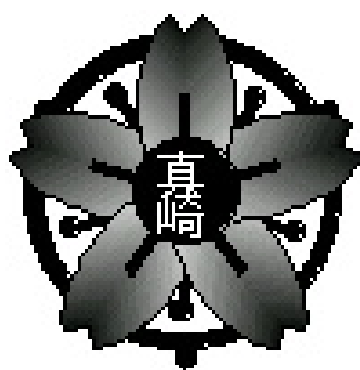


真崎スタンダード

充実した学校生活を送るために



「真崎スタンダード」は、子どもたちが互いに気持ちよく、充実した学校生活を送るために、学習や生活のきまりについて具体的な取組をまとめたものです。子どもたちが豊かな社会生活を送る上で大切なことを身に付けていくためには、学校・家庭・地域等が育てたい子ども像を共有し、一緒に育てていくことが大切です。ご家庭でも、このリーフレットをもとに子どもたちに言葉をかけてくださいますようお願いいたします。

ご家庭で確認しやすい所に掲示をお願いします。

諫早市立真崎小学校

安全な登下校

- 7時30分～7時55分の間に教室に入り、8時までに朝のしたくを済ませましょう。
- 寄り道をしなくて、通学路を守ってできるだけ友達と一緒に登下校しましょう。
- 忘れ物を取りに帰りません。(家を出る前に確認を)
- 進んで気持ちのよいあいさつをしましょう。
- 歩いて登校しましょう。(原則として、車での送迎はしてもらいません。)
- ランドセルの横のフックに掛けるキーホルダーは、1つまでです。
- 1年生は黄色い帽子をかぶります。防犯ブザーはランドセルの押しやすい所につけましょう。
- 寒い時でも、ポケットに手を入れずに歩きましょう。(寒い時は手袋も可)

登校したら

- 靴箱の上段に上ばき、下段に下ばき(運動靴)を、つま先を奥にして入れる。
- 集金は担任の先生に直接渡す。
- ロッカーの荷物は、ロッカーからはみ出さないように、向きをそろえて整頓する。
- 机の横には学級で決めた物以外かけない。
- 脱いだ上着はロッカーかランドセルに入れる。

進んであいさつ・返事

しつれいします

(職員室や校長室、保健室、他の学級に入る時)

すみません (相手に失礼な事をした時)

はい (名前を呼ばれた時)

おはようございます (朝、人に会った時)

ありがとうございます

(人にお世話になった時)

さようなら

帰るとき(帰る途中に会った人に)

えしゃく・・・軽くおじぎをすること(大きな声を出せない時や、何度も同じ人に会った時にします。相手への心づかいを表す動作で)

校内での生活

- 時計を見て早めに行動しましょう。
- 廊下や階段などでは「は・さ・み」歩きの約束を守りましょう。
- 特別教室などに移動する時は、並んで歩きましょう。
- ハンカチやティッシュを身につけ、こまめに手洗い・うがいをしましょう。
- 時と場所、話す相手にふさわしい、ていねいな言葉づかいをしましょう。
- 先生とは「です・ます」を使って話しましょう。
- 友だちを、呼びすてにしないようにしましょう。「さん」「くん」「ちゃん」をつけましょう。
- 友だちが傷つくことや、嫌がることを言ったりしたりにしないように考えて行動しましょう。
- もし、いじめている人を見つけたら、注意をするか、先生に伝えるか考えましょう。

給食の時間になったら

- 5分間 トイレ、手洗い、長い髪は束ねる、給食当番は衛生点検をしましょう。
- 10分間 給食を取りに行き、配膳します。
- 20分間 楽しく会食しましょう。食材や給食にたずさわる方に感謝し、偏食をせず、食事のマナーを守って、自分にあつた量をいただきます。食事のマナーを守って食べましょう。
- 5分間 片づけましょう。
- 5分間 函みがきタイムです。
- 回収時刻に間に合うように片づけましょう。
- 給食着は、金曜日に持ち帰り、洗濯して月曜日に持ってきましょう。

家へ帰ったら

- お便りや連絡帳をお家の人に渡しましょう。
- 遊びに行く前に、宿題に取り組みましょう。
- 遊びに行く時は、家の人に「だれと」「どこで」「何をして」「いつ帰るか」知らせておきましょう。
- 連絡を見て、次の日の準備をしましょう。持ち物だけではなく、宿題や次の日に着る服など、夜のうちに準備を済ませ、朝にあわてないようにしましょう。

ひるやすみ 昼休みは

- 天気の良い日は外で遊びましょう。天気が悪くて外遊びができない時は、教室や図書室で静かに過ごしましょう。
- 図書室の本は、読書タイムや家読などが確実にできるように、昼休みに借りておきましょう。

授業が始まる前に

- 次の時間の準備をしましょう。
(教科書・ノート・筆箱の置き方の約束)
- トイレや水飲みなどをすませましょう。
- 時計を見て、チャイムが鳴る前に着席しましょう。
- 椅子には正しい姿勢で座りましょう。



学習の基本

- 黙想をして始めます。黙想をしている間、「これができる(わかる)ようになりたい」と考えましょう。
- 前回学習したことを発表して、今日の学習とつなげましょう。
- ノートやワークシートに、「日付」「学習のめあてや問題」を書きましょう。
- 学んでいて「おもしろそう」「もっと知りたい」を見つけてみましょう。
- わからないことをそのままにせずに、先生や友達に聞いて、わかるまで粘り強く取り組みましょう。
- 学習を振り返り、「できた(わかった)こと」「成長したと感じること」「次に頑張りたいこと」などをノートやワークシートに書きましょう。
- ノートに書く時は無地の下じきを使い定規で線を引きましょう。鉛筆を持っていない方の手で、ノートをおさえましょう。

話し方・聞き方

- 全学年**
- 「～です。～ます。」で話しましょう。
 - 「私はこう思う」と、自分の考えや気持ちを伝えましょう。
 - 先生や友達が話したら、必ず反応を返しましょう。
 - 友達に「いいね。」や「すごい。」など、勇気が出る言葉をかけましょう。
 - 自分とは違う考えをもつ人の気持ちも大切にしよう。
- 低学年**
- 最後までしっかりと聞きましょう。
 - 相手を見て、じゅんばん言葉を使って話しましょう。
- 中学年**
- 話の中心を考えながら、聞きましょう。
 - 分かりやすく、結論と理由を話しましょう。
- 高学年**
- 自分と相手の考えと比べながら、聞きましょう。
 - 相手を納得させるように、話しましょう。

よい反応

- 「良い反応(あいづち)」について、学級で話して、がんばりを認め合える学級を目指しましょう。

(良い反応の例)

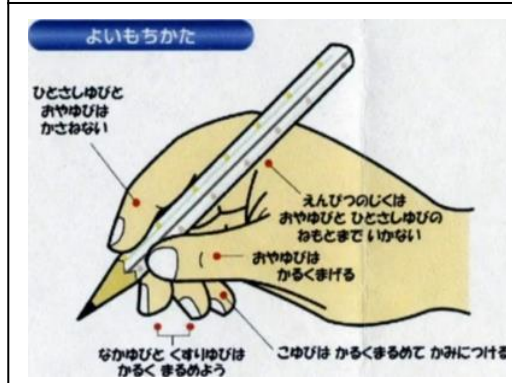
なるほど わかりました それいいね すごい 同じです 似ています 私もさんせいです 質問です
他に意見があります 付け足します よくわからなかったのもう一度教えてください など

学習用品

- 持ち物には、全て記名しましょう。
- **筆箱**
- 鉛筆5本(B・2B/学年に応じて)
- 赤□青鉛筆(3年生以上はペンも可。ただし、シャープペン付きなど、多機能ペンは不可)
- *鉛筆はけずっておきましょう。
- 消しゴム □定規
- 名前ペン
- 蛍光ペンを使う場合は1色のみ

ノート

- 年度当初に、各学年で使用するノートを渡します。買い替える場合は、それぞれの学年で使っているものに合わせて買いましょう。
- *学習で必要な物がある時は、先生の許可を必ず取りましょう。
- *注意されても持ってくる場合は、学校で預かり保護者へ返却します。



聞き方名人あいいうえお

あ：あいての目を見て
い：いい姿勢で
う：うなずきながら
え：えがおで
お：終わりまで静かに

話し方名人かきくけこ

か：考えをまとめて
き：聞こえる声で
く：くらべてつなげて
け：結論とわけをつけて
こ：言葉づかいに気をつけて